オセロ（1955）

OTELO
OTHELLO

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 ソ連
色彩 Color
時間 109分
初公開日 1956/08/15
公開情報 独立映画

【解説】

『ハムレット』『リア王』『ロミオとジュリエット』と並ぶシェークスピア４大悲劇の一つをＳ・ユトケーヴィッチがほぼ忠実に映画化。ムーア人の将軍オセロは黒人奴隷の出身だがその手腕を買われ、トルコ征伐の総督に任命される。折りしも彼を見出したブラバンシオの娘デスデモナと昵懇だったオセロは父親の反対を押し切り結婚。共にトルコに出発する。一方彼を快く思わぬ部下イヤゴは、彼を陥れるべく一計を画策する。副官カシオとデスデモナの仲をオセロに吹き込み、妻の貞操を疑わせる。嫉妬に狂うオセロはその激怒の果てに……。長い構想の末、ソヴィエト政権の協力を得て作られたこの大作は見事カンヌ映画祭で監督賞を受賞。主演のＳ・ボンダルチュクはこの作品で世界的名声を勝ち取る事になった。

【クレジット】

監督	セルゲイ・ユトケーヴィッチ	Sergei Yutkevich
原作	ウィリアム・シェイクスピア	William Shakespeare
脚本	セルゲイ・ユトケーヴィッチ	Sergei Yutkevich
撮影	エフゲニー・アンドリカニス	Yevgeni Andrikanis
音楽	アラム・ハチャトゥリアン	Aram Khachaturyan
出演	セルゲイ・ボンダルチュク	Sergei Bondarchuk
	イリーナ・スコブツェワ	Irina Skobtseva
	アンドレイ・ポポフ	Andrei Popov

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.